

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 177 号	2016年4月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	--------------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

- 3月30日（水）二俣瀬ふれあいセンターにて平成27年度の会計監査が行われました。
- 4月3日（日）ビオトープ28年度の総会が二俣瀬ふれあいセンターで開催され、22名の参加でした。会長が欠席のため、田村副会長が議長となり、関根事務局長の司会で議事を進行しました。
 - 1) 27年度の活動報告と会計報告は承認され、監査報告もありました。
 - 2) 傷害保険はつくる会が一括して支払い、観察隊の会計には記載しないこととしました。
 - 3) 規約が一部改訂されました。
 - 4) 会員の退会者と入会者の説明がありました。
 - 5) 稲作体験・会報は継続して行います。（会報は白黒で印刷します）
 - 6) エコアップは実施回数が少ないので、活動日には会員の参加要請がありました。
 - 7) 維持管理は、散策路（橋部分）の修復が主となり、水車の修復などは検討することになりました。
 - 8) 観察隊より活動計画が説明されました。（14家族、18名）
 - 9) 会員募集の方策は役員事務局会議で検討することになりました。
 - 10) “うべまるごと元気ネットワーク”の説明があり、情報収集のために参加すること、前田事務局員が窓口になることとしました。
- 4月16日（土）二俣瀬ふれあいセンターにて親子自然観察隊の結隊式があり、スタッフ紹介、隊員紹介、行事・注意事項・保険などの説明がありました。その後、ビオトープへ移動し、食べられる野草の説明を聞いた後、山野草をそれぞれ採取して、安全を確認して、テンプラにして食べました。天気も良く、皆さん楽しい一日を過ごされました。参加者は、親12名、子15名、会員19名、山大学生5名でした。

2. 今後の予定（事務局 記）

- ◎見学者
- ◎行 事
 - 5月 1日（日）維持活動（草刈・水路溝上げ・エコアップ・修復作業）
 - 5月18日（水）役員事務局会議（山大工学部）
 - 水車の対応・稲作に対する作業打ち合わせ・食べられる野草の反省会・他・・・
 - 5月21日（土）親子自然観察隊（野鳥観察）

3. 来訪者の声

今月はありません。

4. 会員の声-「イベントの心構え」 (原田満洲夫記)

平成28年度親子自然観察隊が始まりました。4月16日は「食べられる野草」で例年のごとく、ビオトープ周辺の植物(野草)の勉強会でした。当日は結隊式も兼ねていたために野草の採取の時間が少なく実のある勉強会には少し問題があったと判断します。

今後は結隊式は春休みに完全なプレゼンテーションを兼ねイベントとは分け行う事も考えた方が良くないでしょうか。

親子自然観察隊行事は主に5行事(①食べられる野草 ②野鳥観察 ③水棲動物観察 ④秋の昆虫 ⑤里山の暮らし)であるがそれぞれが、一つのイベントとして計画や事前準備をしなくてはならない事に、今回の第一回目行事を終え、つくづく感じました。

次回「野鳥観察」は外部講師を招聘する事になっているが、参加会員はただついて行くだけでなく準講師としての役目も担っていると思う事である。

- 1、観察通路の事前確認
- 2、観察に注意すべき事
- 3、準備する用具 等々 講師と協議を忘れてはならない。

担当会員が事前に完全把握してより有意義なイベントとなるはずです。

退職前の社訓を借りれば

“70%主義で決断し、よりパーフェクトに近付けよう”

5. 親子自然観察隊(結隊式及び食べられる野草)

結隊式: 二俣瀬公民館にて受付を開始し、会費納入受付、資料の配布を行った後親子自然観察隊「結隊式」が行われました。今年は14家族19名の隊員と保護者が集まったほか、山口大学の学生さんも6名参加、にぎやかなスタートとなりました。

原田会長、管親子自然観察隊隊長、関根事務局長の挨拶に続き、原谷会員よりフィールドでの注意事項の説明、ビオトープ会員、観察隊役員の紹介を済ませたのち、親子自然観察隊新隊員親子の自己紹介が行われました。小学生よりも幼稚園、保育園児のほうが元気に自己紹介されたりで、楽しく和気あいあいの内に「結隊式」を終えました。

食べられる野草の採集

結隊式の後、東屋に移動し山野草の採集を行い、摘み取られた野草の試食会を行いました。

採集の前、北村リーダーより「春の七草」の説明を受け、毒になる植物の説明も聞き、野草採集に出かけました。原田会員は高枝切りハサミを使い、「タラの芽」を摘んでくれました。今年はビオトープの敷地内での野草の摘み取りとしましたので、種類は限定されましたが、たくさんの野草が生育していたので、親子にとって十分に摘み取りを楽しまれたようでした。“ノビル”や“フキ”が敷地内に多く生育しており、ビオトープの会員より掘り取っていただき、たくさんプレゼントされお土産にされた親子もいました。タケノコ堀は今年中止しました、希望者が多く全員に体験させることができません、あしからずご了解いただきます。調理用のタケノコ、シイタケは、前日に会員有志により掘り取っていただいています。

松本リーダー(調理担当)は結隊式に出席せず、朝から調理に専念していただき、途中より河本会員、工藤会員などの応援を得て全員に行き渡るだけの野草を調理していただきました。そのほかの会員は、調理のお手伝いや、それぞれ観察隊隊員親子を先導し、案内と指導を受け持っていただきました。

【食べられる野草】

アザミ、タンポポ、フキ、レンゲ、シロツメクサ、ツクシ、セリ、ワラビ、ミツバ、ノビル、ヨモギ、ハコベ、シイタケ、タケノコ、タラの芽。

(敷地内で見当たらなかった野草)

ナズナ、スズシロ、ゴギョウ (ハハコグサ)、コオニタビラコ (ホトケノザ)、

【食べられない野草】

キツネノボタン、タガラシ、ムラサキケマン、ウマノアシガタ、ヒメハギ、ヒメウズ、ホトケノザ、トウダイグサ、

山菜の試食会は11:30~12:00に行われました。親子隊員やビオトープの会員にも十分行き渡り完食、さらに会員のためのお茶とおムスビまで用意されており、山菜のテンプラにおムスビが添えられて豪華な昼食となりました。

尚、山口大学の学生6名の内2名は経験者ですが、4名は新2年生で初参加でした。今後とも参加されるよう継続してゆく予定です。

今年最初の行事も、好天の中事故もなく無事終了いたしました。お世話いただいた会員の皆様には本当にご苦勞様でした、御礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。



食べられる野草の説明



野草を探して



野草を探して



テンプラにした野草を試食

親子自然観察隊の感想

★国平 清咲

たんぽぽなどの身近な植物が食べられることを初めて知ってびっくりしました。ビオトープに初めて行って、実際、採取して食べれるのかな?とか、水の中の観察したりしました。食べてみて美味しいもの、苦いものもあったけど、こんな体験はなかなかできないので楽しかったです。この体験を学校の先生やお友達にも伝えてみたいです。

★国平 (母)

私たちが初めての体験で、子供たちと楽しむことができました。ビオトープでは、はしゃぎまわり水遊びしたり、植物や昆虫に触れ合うことができ嬉しく思いました。庭に生えているような植物を実際食べてみて、美味しさと彩りにびっくりしました。自然の色って素敵です。次の回も楽しみにしています。

★永富花音

筍を蹴って取りました。初めてでとても楽しかったです。たらの葉の天ぷらが美味しかったです。

★永富利津子 (母)

知らない野草が沢山ありました。丁寧に教えて頂き勉強になりました。摘みたて揚げたての天ぷらもとても美味しかったです。

★磯部陽向くんの母

今まで親子でこういうイベントには参加したことがなく、ちょっと緊張していたんですが、隊長をはじめ先生方やスタッフの皆さんが温かい人柄でとても安心しました。何よりも自然が豊かなとても素敵な環境で、普段ゲームやテレビばかりに囲まれた生活を送っている息子にとって、いい刺激になることは間違いありません。親にとっても今回の野草探しはとても勉強になり、普段雑草のくくりでしか見ていなかった植物を、身近に感じることもできました。

こちらで親子共々たくさんのお体験をさせていただきます。宜しくお願い致します。

★下川航平

山菜をとるときにカラスノエンドウとスズメノエンドウとスイバがたくさんあった。ノビルとタケノコがおいしかった。

★下川 (母)

子どもが年々少しずつですが野草の種類を覚えている様子でありがたいです。

★阿部真愉

4月16日の今日、久々にビオトープに行った。今日は山菜摘みを行なった。初めはなかなか見つけることが出来なかったけれど、目が慣れてくると見つけられるようになった。お昼の時間に天ぷらをお腹いっぱい食べた。特に筍の天ぷらをいっぱい食べた。お昼が終わって解散して帰る前に フキをいっぱい採った。花束に出来そうなほど いっぱい採った。持つ時 ととも重かった。でも、楽しかった。

★阿部 (母)

久しぶりのビオトープは、春真っ盛り… 五感を研ぎ澄ませ 春を満喫し、心もお腹も豊かな気持ちに包まれた春の1日を過ごすことができました。 有難うございました。(母)

★戸成晃大

たけのこ掘りをとても楽しみにしていたのに、掘れなくて残念でした。でも、久しぶりに里山に行って、みんなに会えて楽しかったです。川に大きな魚がいたので早く釣りたいです。今年もよろしくお祈りします。

★戸成典枝 (母)

ずっとバタバタと忙しく毎日を過ごしていたので、ゆったりと自然の中で過ごせてとても良かったです。やっぱり里山はいいですね。何度も行っているのですが、スズメノエンドウとカスマグサの違いがよくわからないので、区別できるようになりたいです。今年もよろしくお祈りします。

★仲嶋さんの母

先日はお世話になりました。食べられる野草、見たことあるけれど知らなかった植物の名前などいつも見過ごしていることの多さ、そんな中の緊急地震速報。自然の怖さとありがたさ、豊かさを一度に感じる1日でした。そして、そこに目を向ける大切さを知ったように思いました。

中々普段、子供とゆっくり時間をとって自然と触れたり、遊んだりすることができなかつたのでこれからの活動もとても楽しみにしています。よろしくお願ひします。

山大工学部学生の感想

★山崎修平

久々に草花や昆虫を観察しながら、自然豊かなビオトープを散策し、小さい頃を思い出す様でした。

それぞれの名前や特徴を教えていただき、とても勉強になりました。

スタッフの皆さん、ありがとうございました。

★生月千晶

身近に生えている野草ですが、あまり知らなかったなど実感し、少し興味がわきました。

野草を食べられる貴重な機会となりました。ありがとうございました。

★阿部真希子

以前参加していたので、野草を見つけるのは容易だろうと思っていましたが、実際散策してみるとなかなか見つかりませんでした。まだまだ勉強が足りませんね。これからの活動でまた新たなことを知っていきたいです。宜しくお願ひいたします。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管哲郎 記)

(4) ヤマトタマムシ *Chrysochroa fulgidissima*

コウチュウ目 タマムシ科 (準絶滅危惧種)

本州、四国、九州、沖縄などに生息し、やはりあつたかい地方に棲む昆虫のようです。わが国では「玉虫厨子」で知られ、古くより日本人に親しまれている美しい甲虫です。これまで山口県ではあまり姿が見られず、準絶滅危惧種に指定されましたが、食草である“榎”が多くあることや「山口むしの会」による観察、調査によって、多くの姿が確認され、思った以上に多くの場所で生息していることがわかりました。

しかし、ヤマトタマムシは、高い樹木の梢の先端部を飛翔しますので、一般の人にはなかなか姿を見ることが難しいかもしれません。条件が良ければ低い梢から梢を飛びわたるヤマトタマムシを見ることも可能ですが、そういう場所は限られており専門家でない場所ではなかなかわかりません。

7月～8月の夏場に樹間を飛翔する姿が見られますが、桜や榎の枯れ木などにつきますので、注意してみてもいいかでしょうか。



“榎”の葉で休むヤマトタマムシの成虫

7. 会よりの連絡事項

1、新入会員お知らせ

宇部市役所閑居政策部 林 孝之（環境政策課 課補）

宇部市西岐波柳瀬 上田久雄（車地出身 元交通局）

現在申し込み会員は以上ですが、口コミで勧誘お願いします。

8. 編集後記

会員の高齢化も進み、退会者も出て、会員数も減ってきています。総会で会員募集の方法などを話し合う予定でしたが、時間もなくて具体的な協議は役員事務局会議で行うことが決まりました。大人向けに、自然観察会、維持管理体験会、イベント（田植え・稲刈りなど、但し餅つきは除く）などを企画し情報発信して、まずビオトープを知ってもらって、特に定年後のこれからを考えている方に興味を持ってもらう事が必要かなと思います。そこで「宇部市環境学習ポータルサイト」に4月16日のイベントをカレンダーに記載してもらいましたが、時間もなくて参加者はいませんでした。今後もこのイベントカレンダーへ記載してもらって参加者が出てくれればと願っています。皆さんにも何か良い知恵を出していただけませんかでしょうか。

（ 原谷 一誠 記 ）